

# 平成25年度公益財団法人とちぎ未来づくり財団事業計画

## I 基本方針

公益財団法人とちぎ未来づくり財団は、次代を担う子ども及び青少年の福祉の増進に資するとともに、県民の生活に潤いと活力をもたらす文化の振興に寄与するため、子ども及び青少年の健全育成に関する事業と県民の文化の向上に関する事業とを、相互の連携のもとに展開していくものとする。

この目的実現のため、県から管理を受託する7施設において、これまで財団で培ってきたノウハウを活かして、それぞれの機能を最大限に発揮できるよう努めるものとする。

また、平成25年度から公益財団法人としての認可を受け、これまで以上に公益性を意識した事業展開を進めて、財団の人的資源や物的資源を活用して地域社会に貢献していく。

## II 主要事業内容

### 1 青少年健全育成事業（公益事業1） ※参考資料1参照

#### (1) 市町村民会議との連携強化・住民啓発促進に関する事業

青少年育成市町村民会議（平成23年、県内26の全市町に設置）との協力強化に努め、市町における青少年育成活動の活性化を促進するとともに、青少年育成に関する情報を発信し、住民の青少年育成に対する関心を高めていく。

#### (2) 青少年の自立と社会参加活動の推進に関する事業

青少年が主体的に判断し行動できる資質や能力を身につけるための事業と、就業支援を目指し、青少年が生き生きと体験活動できる事業を実施し、社会的に自立した青少年の育成を図る。

#### (3) 「心豊かでたくましい栃木の青少年を育成する県民運動」推進事業

青少年育成県民運動の一層の連携と推進を図るため、県や市町、教育委員会、子ども会連合会、PTA連合会など関係団体との連携を強化し、県民運動推進体制の整備を図る。

#### (4) 子育て支援事業

子育てと仕事の両立を図れるような体制づくりを目指した事業や、父親が主体的に子育てに関わることができるような事業を行い、社会全体で子育て環境づくりに取り組む機運の醸成を図る。

### 2 とちぎ未来クラブ事業（公益事業1）

県民総ぐるみで、結婚を支援し、家庭を築き、安心して次代を担う子どもを生み育てる事ができる環境づくりを推進する「とちぎ未来クラブ」事業を実施する。

#### (1) とちぎ出会いサポート事業（結婚支援事業）

少子化対策の一環として、独身者の結婚活動を支援する。

ア 「出会いの場」創出事業

「結婚したいけど出会いの機会がない」「素敵な出会いがあれば結婚したい」と願う人に「出会いの場」を提供する。(主催及び共催)

イ 「出会いの場」イベント情報提供事業

「出会い応援団体(結婚を応援するNPO団体・ボランティアグループ・企業等)」が実施する「出会いの場」イベント情報をホームページで紹介する。

ウ 結婚サポーター事業

「地域結婚サポーター」や「企業内結婚サポーター」に対し、結婚支援事業の情報提供や活動支援を行う。

エ 結婚サポーターによる縁結び事業

地域結婚サポーターや企業内結婚サポーターの広域的な連携による縁結び事業を実施し、結婚支援活動の充実・強化を図る。

(2) 「とちぎ笑顔つぎつぎカード」事業 (とちぎ子育て家族応援事業)

子育て家庭を応援する企業や商店等で、割引・特典等の優待サービスが受けられる「とちぎ笑顔つぎつぎカード」を子育て家族に配布するとともに、サービスを実施する協賛店舗・施設を拡充する。また、近県との事業連携を推進していく。

**3 子ども総合科学館管理運営事業 (公益事業1) ※参考資料2参照**

子どもの科学への関心を高める魅力的な事業展開を図り、科学技術普及啓発施設としての役割を果たすと同時に、学校や児童館との連携を強化し、大型児童館として県内児童館への技術指導や連携事業など実践的な活動を行う。

また、今年是指定管理最後の年となっており、次期指定管理者の公募があるので、施設の管理運営と併せて、次期も指定管理者となるべく公募申請の作業を行っていく。

**《主な事業》**

(1) 展示場の運営および各種教室の実施に係る事業

ア 展示場等の運営

展示品の解説、各種ショー、団体オリエンテーションなどを実施する。

イ 企画展の開催

第63回企画展「ロボット展」(仮)

災害現場で活躍するロボットや、企業・大学で研究されているロボットを中心に紹介し、子どもたちの興味関心を高め、科学技術が生活にいかに関与しているかを理解させ、ひいては、将来の日本を支える技術者、研究者となるきっかけづくりとなることを目的とする。

ウ 科学技術コンクール ―ロボット・チャレンジ 2013―

ものづくりの機会の少なくなった青少年を対象に、自作ロボットの競技会を行う。

エ 各種教室の実施

「科学工作教室」、「わくわく工作」、「電子顕微鏡教室」、「移動科学教室」、「出張科学教室」、「小学生のための実験教室」、「テクニカルフェスティバル」など

を年間を通して実施する。

## (2) プラネタリウム及び天文台の利用に係る事業

### ア プラネタリウムの投影

今年は、3月と12月ごろ彗星が肉眼で見えるほど明るくなると期待されている。このような話題の天文現象や最新の宇宙科学などの内容と、季節に合わせた星空解説を盛り込んだ、一般向け番組を年間4本、年少向け番組を年間2本投影する。

また、天文学習の支援をねらいとした学習番組の投影、「星空さんぽ」、「星と音楽のひととき」など特別番組を投影する。

特に今年は、秋の彗星の観察時期に合わせて、彗星に関する特別番組やプラネタリウム特別講演会を実施することにより現象や観察方法について詳しく解説する。

### イ 天文台の利用

土・日曜日の夜を中心に「星をみる会」を年間23回実施するほか、昼間でも見ることのできる天体や太陽の観察を行う「天文台公開」を年間25回実施する。

また、子どもたちを対象とした夏の大三角の動きなどの観察会をはじめ、彗星観察のための天文教室を4日間連続して実施する。

### ウ その他天文普及活動

天体望遠鏡のしくみを理解しながら手作りし、月などの天体を観察する天文工作教室も年間2回実施する。

また、とても明るくなることが期待される彗星やスピカ食、水星食などの天文現象についての情報提供もインターネットをはじめ館の内外の掲示物等により行う。

## (3) 児童厚生施設としての利用に係る事業

### ア 体験・育成事業

常設展示「遊びの世界」で、「あそびのプログラム」を毎日実施するほか、「パズルの日」「かぞくで手芸部」などを月1回程度実施し有機的な遊び場にする。

また、子どもたちの参画を促進する「おしごとラボ」を夏休み期間中に長期実施するほか、子どもたちの交流性を高める「とり+かえっこ」、端午の節句やクリスマスなど季節を感じるプログラムなどを毎月1回「つきいちあそぼっくる」として実施していく。

その他、乳幼児の親子を対象とした「まめっこタイム」も月1回実施する。

### イ 県内児童健全育成団体等への援助・指導、連絡調整等の事業

あそびの出前等の事業、「児童館フェア」の開催、また、栃木県児童館連絡協議会事務局として県内児童館の活動支援や連携の強化事業、県内の放課後児童クラブへの情報提供および指導員の資質向上のための研修事業、母親クラブの連携事業など、県内各種児童健全育成団体等への援助を行う。







- ・重要遺跡/国分寺愛宕塚古墳等（下野市外）、国分尼寺跡（下野市）
- ・小貝川沿岸2期地区／北ノ内・助五郎内・星ノ宮遺跡（市貝町）
- ・くるま橋遺跡（真岡市）
- ・横倉遺跡（小山市）
- ・神田城南遺跡（那珂川町）
- ・薬師堂遺跡（高根沢町）
- ・頼朝塚古墳（市貝町）
- ・市ノ塚遺跡（真岡市）

イ 都市再生機構からの受託事業

- ・テクノポリスセンター地区遺跡群／野高谷薬師堂、刈沼・刈沼向原遺跡（宇都宮市）

ウ 市町からの受託事業

- ・小山東部工業団地第二工区／寺野東遺跡、西高橋遺跡（小山市）
- ・西浦・黒袴土地区画整理事業／黒袴台Ⅱ遺跡（佐野市）

(2) 栃木県埋蔵文化財センターの管理運営及び事業の実施

栃木県からの委託を受け、埋蔵文化財センターの施設維持管理を行うとともに、埋蔵文化財の保存・活用及び埋蔵文化財に関する知識の普及に関する事業を行う。

《主な事業》

ア 埋蔵文化財に関する情報収集及び提供

遺物・図面・写真等の貸出や「埋蔵文化財センターだより」（年3回）・「壁新聞」（年2回）を発行する。

イ 埋蔵文化財に関する普及・啓発

発掘調査報告会や現地説明会等の開催、埋蔵文化財センターの一般公開、各種講座の開催を通じて、広く県民に埋蔵文化財保護の重要性やその保存・活用についての理解や関心の向上に努める。

ウ 研 修

市町埋蔵文化財担当者保存処理研修会及び埋蔵文化財担当者研修会を開催する。

エ 埋蔵文化財に関する出土品の保存処理

オ 埋蔵文化財に関する出土品の資料管理

(3) 出土遺物資料化等業務（緊急雇用創出事業）

栃木県からの委託を受けて出土遺物資料化等業務（緊急雇用創出事業）を実施する。

(4) 図書の刊行頒布事業

埋蔵文化財発掘調査報告書、しもつけ風土記の丘資料館及びなす風土記の丘資料館の特別展図録等、埋蔵文化財の調査や普及啓発に関する図書類を刊行頒布する。

9 しもつけ風土記の丘資料館管理運営事業（公益事業3） ※参考資料7参照

周辺に存在する古代下野国の貴重な史跡、資料館展示品等及び当財団の人的資源を活かし、地域の歴史資料館として、郷土の歴史と埋蔵文化財保護の重要性を広く県民に伝える。

## 《主な事業》

### (1) 展示関係

常設展示のほか、春季及び秋季特別展、夏季及び冬季企画展、ギャラリー展示を行う。

### (2) 講演会・講座・展示解説会

開館記念講演会、特別展記念講演会及び各種講座、特別展の展示解説会を開催する。

### (3) 体験教室

「風土記の丘探検隊！！」「勾玉・石斧づくり」など各種体験教室を実施する。

### (4) 見学会

県外や県内の遺跡を見学する見学会を実施する。

### (5) その他

希望する学校（社会科見学）・団体への周辺史跡の案内・解説や、出前授業・出前勾玉づくり教室を実施する。

## 10 なす風土記の丘資料館管理運営事業（公益事業3） ※参考資料7参照

周辺に存在する古代那須国の貴重な史跡、資料館展示品等及び当財団の人的資源を活かし、地域の歴史資料館として、郷土の歴史と埋蔵文化財保護の重要性を広く県民に伝える。

## 《主な事業》

### (1) 展示関係

常設展示のほか、秋季特別展、春季・夏季・冬季・冬春季の企画展を行う。

### (2) 講演会・講座・展示解説会

特別展記念講演会・特別講演会及び各種講座、特別展・企画展の展示解説会を開催する。

### (3) 体験教室

「勾玉づくり」「須恵器づくり」「古代の鏡づくり」など各種体験教室を実施する。

### (4) 見学会

県外や県内の遺跡を見学する見学会を実施する。

### (5) その他

希望する学校（社会科見学）・団体への周辺史跡の案内・解説や、出前授業・出前勾玉づくり教室を実施する。

## 11 栃木県総合文化センター管理運営事業（収益事業）

県内文化振興の拠点施設である栃木県総合文化センターの施設管理及び利用サービス等を行うとともに、広く県民の文化振興を推進するため、県内各種芸術文化団体・公立文化施設等との人脈やネットワークを活かして、同センターを活用した文化振興事業を実施する。

また、今年是指定管理最後の年となっており、次期指定管理者の公募があるので、

施設の管理運営と併せて、次期も指定管理者となるべく公募申請の作業を行っていく。

#### 《主な業務》

##### (1) 施設利用受付業務

ホールやギャラリー、会議室、各種練習室等の貸出を行う。

##### (2) 利用者サービス業務

催し物案内の発行、ホームページやメールマガジン等による催事情報の提供を行うとともに、文化団体や企業向けに施設利用促進を図る広告、広報活動を行う。

施設利用のアドバイスのほか、利用者のニーズに合わせてケータリングや会場設営などのサービスを提供する「らくらくサービス」事業を実施する。

##### (3) 施設の維持管理業務

来館者の安全を守るため、防災設備等の保守点検及び消防訓練を実施するとともに、危機管理マニュアルを整備する。

利用に支障が生じないよう快適な館内環境の維持や設備・備品等の管理を行う。

## 1.2 生涯学習の振興に関する事業

財団主催事業として、県民の学習ニーズに合わせて当財団のソフト・ハードを活用して開催する講座等を、「栃木県民カレッジ」に登録し、広く県民に学びの場を提供する。

※参考資料参照（参考資料の○印が栃木県民カレッジ登録事業）